

わがまち 高萩を支える 働き人



ひらさわ めい
平澤 愛依さん(23歳・入社1年目)
ニダック(株)高萩工場
所属:研究技術部

◆今後の目標

ボーイスカウトでの経験は、「汚れても洗えば良い!」と平気だった。仕事にも活かしているかもしれない。

◆くらし

私は、生まれてからずっと日立市の実家で家族と一緒に暮らしています。慣れない社会人生活は疲れるので、支えてくれている家族にはとて

◆入社のきっかけと仕事

大学(工学部マテリアル工学科)在学中に「面白い企業がある」と教授から「ニダック」を紹介され、「物づくりに興味から工場見学をさせてもらいました。その時に、社員の金属に対する幅広い知識と確かな技術を目の当たりにし、「私も一緒に働きたい」と思ったのが、入社のかげです。新入社員研修を経て研究技術部に配属され、現在は基礎的なことを学んでいます。主な業務は、品質管理のための調査で、製品劣化の原因追究などを行っています。

◆高萩市に期待すること

幅広い世代が集いキャンパスがでる『高萩スカウトフィールド』のオープンが待ち遠しいです!実は、小学3年生の時幼馴染が着ていた制服に着かれてボーイスカウトに入団しました。最近、リーダー(指導者)の立場で活動に参加し、月に1・2回は小さい子供たちの世話を焼きながら一緒に楽しんでいます。先日はハチの巣から蜜蝋を採取して口ウソクを作る体験をしました。普段できないことに挑戦!子供たちには様々な体験をさせてあげられるようリーダーとして頑張りたいです。



ニダック(株)高萩第一工場
住所:高萩市上手綱3641
TEL:0293-24-1111

■会社概要

特殊鑄造品の『技術を世に問う心』で昭和49年設立。昭和61年に高萩市に工場を建設。主要製品は、高温高压用耐熱鋼鑄造部品・極低温用ステンレス鋼鑄造部品など。受注生産で多品種少量生産を行い、大学・研究所・客先との共同開発や材料研究・技術確立等に取り組む。大型堅型処理炉やAOD精錬装置を導入し、より高品質の製品供給に努めている。



▲電子顕微鏡で観察する平澤さん

せん。しかし、現場の工場には危険がいっぱいだし、体力はどうしても男性社員にかなわないので、将来的には体力よりも知力をつけて、男女差なく自分の力を十分に発揮できる仕事になりたいです。できないことはできる限りやり、得意なことは磨いていきたいですね。仕事の方も「私に任せとけ!」と言えるように頑張りたいです。

”高戸では80代はまだまだ若造”

生涯現役 いきいき元気



黒澤 昭次さん
(高戸・84歳)

「年に一度の『枝豆直売会』を多くの人に知ってもらって、来年はもっとたくさんの人に収穫しに来てもらいたい。今からいっぱい宣伝しておかないと。」と満面の笑顔で話すのは『松岡地区集団転作付組合』の黒澤さん。

組合は、国の減反政策による松岡ほ場の整備に伴い平成10年に設立。休耕田に大豆を作付し、毎年9月中旬頃に収穫・直売会を開催しています。美味しい枝豆を1本500円のロープで結べるだけ結んで持ち帰れるといううちよつと変わった収穫方法と、採れたて新鮮な枝豆が食べられると口コミで拡がり、今年も市内外からの収穫者で賑わいました。

黒澤さんは、若い頃から畑の土いじりを日課にしています。会社勤めを勧められたこともありませんが、ずっと農業を営んできました。今でもブロッコリーなどの野菜を育てて、市場に出荷しています。8年程前に腰の手術を受け、足が思うように動かないこともありましたが、自分のペースで仕事をすることにしています。「浜風で空気が良いからか、高戸では歳をとっても元気な人が多い。100歳でも畑をやっただ若造のひよっこだ。」と黒澤さん。

雨の日には自宅でゆっくり休み、晴れの日には畑仕事で体を動かすことが元気の秘訣かもしれません。

「19年続く直売会のおかげで、1年に1回いろいろな人に出会えて楽しい。今年は2日目か雨で中止になって残念だったので、来年は天気が良いと嬉しい。」



▲組合の皆さんと黒澤さん